

西光寺だより

第二十号 平成二十四年四月一日発行

うらかな春の陽ただよう四月。咲き誇る桜を楽しめる季節となりました。淡いピンク色をした桜の花びらは、毎年わたくしたちを楽しませてくれます。

日本人は桜に対する思いがことのほか強いと聞いたことがあります。日本という国が桜色に染まっていく様は、同時に多くの人々の心まであたたく染めていくようにも思えます。目を閉じても瞼の奥になんともいえぬ桜色が感じられる気がしますね。

実は、この桜で染物をするとき、桜の花びらからではなくごっこつした桜の皮を煮詰めて取り出すそうです。

中学校の国語の教科書に使われている大岡信さんという方の『言葉の力』の中に次のように書かれています。

「私はその話を聞いて、体が一瞬ゆらぐような不思議な感じにおそわれた。春先、間もなく花となって咲き出でようとしている桜の木が、花びらだけでなく、木全体で懸命になつて最上のピンク色になろうとしている姿が、私の脳裏にゆらめいたからである。花びらのピンクは幹のピンクであり、樹皮のピンクであり、樹液のピンクであった。桜は全身で春のピンクに色づいていて、花びらはいわばそれらのピンクが、ほんの先端だけ姿を出したものにすぎなかった。」

これは、桜の皮から染物をつくる話を聞かれた大岡さんがそのときのお気持ちを綴られた言葉ですが、はっと気付かせていただけるものがあります。

私たちはいつも、その美しい花びらだけを見て楽しませていただいています。実はその花びらは、木全体で懸命に染めているのですね。

私たちの目に見えているものだけが、全てではないこと。誰しもが見えぬところで大きな支えがあること。

そのことを抱きしめながら、今年の桜は花だけでなく枝も木も慈しみたいと感じています。



◆四月・五月の行事◆

・四月 一日（日） 春季永代経法要・追弔会

午後二時・七時 西光寺本堂

・御講師 巖水 法乗 師（浄覚寺住職）

※なお、追弔会は一時三十分より厳修いたします

・四月 八日（日） 花まつり（灌仏会）

午後二時より 西光寺本堂

・五月十二日（土） 撰津十二日講御消息披露法要

午後一時より 西光寺本堂

●今月のことば●

「撰津十二日講御消息披露法要」について

先月の西光寺だよりからお伝えしている通り、五月十二日（土）に西光寺本堂にて撰津十二日講御消息披露法要が午後一時より厳修致します。

この撰津十二日講とは、顕如上人様と共に大阪石山本願寺（今の大阪城のあたり）を拠点として戦った念仏者の遺弟です。元亀元年（1570年）から天正八年（1580年）十一年間に及ぶ長い間、（真宗門徒の固い団結が統一の妨げになると考え）天下統一を目指す織田信長の軍勢を相手に、撰津国の法中・門徒達は、浄土真宗のみ教えを護るため心一つにし、後世に伝えたい一念で必死に戦われたのであります。

此の強い信仰に結ばれた撰津国の門徒達は、本願寺第十一世顕如上人様にお願ひして御消息（お手紙）一卷を載いて同年九月十二日に御消息披露法座を初めて開かれ、大阪石山合戦で尊い犠牲とられた撰津国法中・門徒達の総追悼法要を厳修されました。御法儀の信を深め合うと共に懐旧の情を温め合ったのであります。

それより以降、石山合戦を共に戦った法縁の寺院を会所とした輪番制を定め、毎月十二日に代々の御門主様御親筆の御消息を戴き426年に及んで此の法座を相続してきました。

また正保三年（1646年）336年前、本願寺第十三世良如上人様の直弟養寿院殿を富田本照寺へお迎え申し上げ連枝寺と成り、従

来、本願寺護持に一翼を担っていた撰津十二日講が本照寺護持のため附与され、撰津十二日講御消息披露法要の講師として御消息披露をして頂きます。

西光寺におきましても八年に一度巡り当るこの撰津十二日講を皆様でお勤めさせていただき、本願寺を守って頂いた先人様を偲びつつ、皆様でお念仏申したいと思います。

なお、西光寺講総代様を始め役員様、仏教婦人会の皆様にはお忙しいとは思いますが撰津十二日講のお役のほうで、なにかとご迷惑をおかけ致しますが何卒よろしくお願い致します。

当日は八年に一度の御法要を皆様でお勤めしたいと思しますので、多くのご参詣お待ちしております。

🍵あながき🍵

急遽、決定致しました三月十一日（日）東日本大震災追悼法要で皆様から頂いた義援金は五万七千五百七十円でした。義援金として届けさせていただきましたので、ここに報告させていただきます。御協力ありがとうございました。

そして三月二十五日（日）西光寺本堂にて仏教婦人会総会が行われました。皆様で正信偈のお勤めをし、お弁当をいただきました。また改選の年でもありました。仏教婦人会会長をはじめ、各役員の方々三年間西光寺の護持に務め、きりもりして頂きまして本当にありがとうございます。そしてお疲れ様でした。

また新たに決まりました会長・各役員の皆様、これからもどうぞ宜しくお願い致します。

合掌

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一―七―一

電話 ○七二一―六二一―四七九四

FAX ○七二一―六二一―九二九二

<http://www.osaka-saikouji.net/>